26. テストハンマーによる強度推定調査要領

テストハンマーによる強度推定調査要領

（1）目　的

この要領は、テストハンマーによる強度の推定に必要な事項を定め、工事におけるコンクリートの適正な管理を図り、もって構造物の品質確保に資することを目的とする。

（2）調査頻度

1）調査頻度は、鉄筋コンクリート擁壁及びカルバート類については目地間、トンネルについては１打設部分、その他の構造物については強度が同じブロックを１構造物の単位とし、各単位につき３カ所の調査を実施する。

2）調査の結果、所定の強度が得られない場合については、その箇所の周辺において、再調査を５カ所実施する。

（3）測　定

1）測定方法

「硬化コンクリートのテストハンマー強度の試験方法(ＪＳＣＥ－Ｇ504)」により実施すること。(「コンクリート標準示方書(規準編)」に掲載)

2）測定の立ち会い

監督職員等の立ち会いの頻度については、３０％程度とする。

3）その他

測定にあたっては、極力足場が存置されている間に実施する。

（4）調査の報告

構造物毎に別添様式－１により調査票を作成し、監督職員に提出する。

別添様式－１

テストハンマーによる強度推定調査票（１）

工　事　名	
請 負 者 名	
構 造 物 名	（工種・種別・細別等構造物が判断出来る名称）
現場代理人名	
主任技術者名	
監理技術者名	
測 定 者 名	

位　置	測定 No.		
構造物形式			
構造物寸法			
竣工年月日	平成　　年　　月　　日		
適用仕様書			
コンクリートの種類			
コンクリートの設計基準強度	N/㎟	コンクリートの呼び強度	N/㎟
海岸からの距離	海上、海岸沿い、海岸から　　Km		
周辺環境①	工場、住宅・商業地、農地、山地、その他（　　）		
周辺環境②	普通地、雪寒地、その他（　　）		
直下周辺環境	河川・海、道路、その他（　　）		

構造物位置図（1/50,000 を標準とする）

添付しない場合は
（別添資料－○参照）と記入し、資料提出

テストハンマーによる強度推定調査票（2）

構造物名（工種・種別・細別等構造物が判断出来る名称）

一般図、立面図等

添付しない場合は
（別添資料－○参照）と記入し、
資料提出

テストハンマーによる強度推定調査票（3）

構造物名（工種・種別・細別等構造物が判断出来る名称）

全景写真

添付しない場合は
（別添資料－〇参照）と記入し、
資料提出

テストハンマーによる強度推定調査票（4）

構造物名（工種・種別・細別等構造物が判断出来る名称）

調査箇所	①	②	③	④	⑤
推定強度（N/㎟）					
反発硬度					
打撃方向（補正値）					
	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
乾燥状態（補正値）	・乾燥 ・湿っている ・濡れている	・乾燥 ・湿っている ・濡れている	・乾燥 ・湿っている ・濡れている	・乾燥 ・湿っている ・濡れている	・乾燥 ・湿っている ・濡れている
	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
材　　齢	日	日	日	日	日
	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）

推定強度結果の最大値　　N/㎟

推定強度結果の最小値　　N/㎟

推定強度結果の最大値と最小値の差　　N/㎟

テストハンマーによる強度推定調査票（5）

構造物名（工種・種別・細別等構造物が判断出来る名称）

強度測定箇所

添付しない場合は
（別添資料－〇参照）と記入し、
資料提出

テストハンマーによる強度推定調査票（6）

－ コア採取による圧縮強度試験 －

コンクリートの圧縮試験結果

材齢28日圧縮強度試験　1本目の試験結果	
同　2本目の試験結果	
同　3本目の試験結果	
同　3本の平均値	
〔備　考〕	

（白　紙）